

## 生産資材コスト低減成果重視事業

【生産資材コスト低減成果重視事業 23(95)百万円】

### 対策のポイント

生産資材費の一層の低減を図るため、モデル地区において、肥料、農薬の低投入化や農業機械の稼働面積の拡大に資する新技術の導入、組合せを核とした生産資材の合理的利用体系の確立を図ります。

(米生産費における生産資材費の現状)

- ・ 米の生産費における肥料、農薬、農業機械の主要3資材費は約3分の1を占めています。また、これら生産資材費は、低価格資材の供給や効率利用等の取組により5年間(H12/H17)で6%減少しています。

(課題)

- ・ さらに生産現場において生産資材費を引き下げるためには、効率的な施肥技術の導入・普及、病害虫の発生状況に応じた合理的な農薬利用の促進、作期分散技術の導入や集落単位の共同利用による農業機械の稼働面積の拡大等を推進することが重要となっています。

### 政策目標

モデル地区の米生産費における3資材(肥料、農薬及び農業機械)費を15%低減(平成20年度)

<内容>

生産資材費の一層の低減を図るため、モデル地区において、数値目標を設定しつつ先駆的な取組を集中的に実施し、合理的利用体系を確立します。

以下の新技術の導入、組合せを中心に生産資材費低減技術体系を確立します。

- ア 施肥回数等の大幅な低減を可能とする育苗箱全量施肥技術
- イ 散布量等の大幅な低減を可能とする高濃度少量農薬散布技術
- ウ 機械の大幅な稼働面積拡大を可能とするマルチステージ苗移植技術

生産資材費の低減効果を最大限引き出すために、新技術体系の確立と併せて行う肥料のバラ、フレコンによる大量一括受入、超低コスト型栽培暦の策定、集落単位の農業機械の効率利用体系の確立等の取組を推進します。

補助率【1/2】

<事業実施主体>

農業生産法人、地方公共団体等

<事業実施期間>

平成18年度～平成20年度

[担当課：生産局農産振興課(03-3591-4958(直))]